

施策1 医療機能の充実・強化

井田病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化							
①救急医療（初期・二次）の強化	①救急受入体制の強化に向けた川崎病院との連携 ②救急医をサポートする救急救命士の安定確保 ③救急患者受入専用病床の確保と効率的な運用	救急受入体制の強化に向けた川崎病院との連携による救急医派遣	実施	実施	実施	-	実施
		救急センターへの救急救命士配置数	5名	4名	4名	80.0%	4名
		救急患者受入病床（3階西病棟41床）の効率的な運用	実施	実施	実施	-	実施
②災害時医療機能の強化	①災害拠点病院として災害医療対応能力の更なる向上と全職員の役割発揮を図るための災害医療訓練の実施 ②災害用備蓄品の計画的な入替えの実施 ③災害発生時の医療強化に向けたDMAT隊員の養成と活動の充実 ④災害対策マニュアル及びBCPの改定	院内災害医療対応訓練の実施	実施	実施	実施	-	実施
		部署別災害訓練の実施	実施	実施	実施	-	実施
		3日以上以上の備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の確保と適切な補充・交換	実施	実施	実施	-	実施
		災害対策マニュアルの改定	実施	実施	実施	-	実施
取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充							
①手術医療の推進	①悪性腫瘍手術の積極的受入れ ②消化器センターによる質の高い医療の提供 ③呼吸器センターによる質の高い医療の提供 ④腎・泌尿器センターによる質の高い医療の提供	悪性腫瘍手術総件数	530件	214件	420件	79.2%	468件
		内視鏡下で施行した悪性腫瘍手術件数	135件	31件	62件	45.9%	114件
		手術支援ロボットで施行した悪性腫瘍手術件数	62件	22件	50件	80.6%	52件
		悪性腫瘍に関わる地域連携クリティカルパス整備件数	8件	8件	8件	100.0%	8件
②放射線治療・化学療法の推進	①高度な検査・治療機器の効果的な活用と計画的な更新 ②化学療法センターの安定的な運営 ③放射線治療の安定的な運営	高度な検査・治療機器の効果的な活用と計画的な更新	実施	実施	実施	-	実施
		他医療機関からの放射線治療紹介患者数	150人	77人	150人	100.0%	128人
		化学療法延べ患者数	1,700人	905人	1,795人	105.6%	1,584人
		放射線治療延べ件数	360件	222件	450件	125.0%	443件

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
③緩和ケア医療の充実	①緩和ケア患者の積極的受入れ ②医師との連携強化の下での患者ニーズに沿ったがん看護外来の実施 ③がん患者に対する在宅ケアの実施 ④地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修会の実施	専門外来（緩和ケア初診外来）患者数	250人	169人	320人	128.0%	317人
		緩和ケア患者受入数	500人	298人	715人	143.0%	662人
		がん看護外来の受入件数	250件	172件	250件	100.0%	302件
		がん患者に対する訪問診療患者数	150人	90人	180人	120.0%	164人
		緩和ケアに関する教育・研修会の開催回数	11回	3回	7回	63.6%	9回
		緩和ケアに関する専門医確保数	7名	7名	8名	107.1%	6名
		緩和ケア診療加算算定件数	380件	172件	344件	90.5%	301件
④がん相談体制等の充実	①がん相談支援センターの運営 ②がん相談専門員の育成 ③就労支援相談体制の確立	がん相談員基礎研修（1）（2）の受講人数	2名	2名	2名	100.0%	2名
		がん相談員基礎研修（3）の修了者在籍人数	2名	2名	2名	100.0%	2名
		がん相談件数（緩和相談を含む）	3,100件	1,918件	3,700件	119.4%	3,939件
		がんサロン開催回数	24回	3回	6回	25.0%	6回
		就労支援相談件数	30件	16件	30件	100.0%	33件
		各種配布リーフレットの見直しと作成	実施	実施	実施	-	実施
⑤がん検診の推進	①がん検診体制の維持・強化 ②がん精密検診実施の周知	肺がん検診実施件数	1,750件	644件	1,750件	100.0%	1,721件
		大腸がん検診実施件数	1,660件	598件	1,650件	99.4%	1,587件
		胃がん検診実施件数	1,000件	358件	1,100件	110.0%	1,090件
		子宮がん検診実施件数	800件	227件	600件	75.0%	594件
		乳がん検診実施件数	1,130件	351件	920件	81.4%	889件

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実							
①感染症医療の確保(結核、新興感染症)	①感染症を専門とする医師や認定看護師の安定的な確保 ②結核専門病棟の運営 ③新型コロナウイルス感染症への対応	専門医(感染症)確保数	2名	1名	1名	50.0%	1名
		感染管理認定看護師の確保数	2名	2名	2名	100.0%	2名
		新興感染症入院患者等の受入れ	実施	実施	実施	-	実施
		感染症遺伝子検査・抗原検査の実施	実施	実施	実施	-	実施
		結核患者の入院受入数	25人	30人	50人	200.0%	57人
②生活習慣病医療の充実	①糖尿病教育の充実 ②専門外来の設置・充実(腫瘍循環器外来など) ③リウマチ膠原病・痛風センターによるリウマチ性疾患の診療実績の向上 ④リウマチ膠原病・痛風センターと近隣診療所との病診連携の強化 ⑤透析センターの安定的な運営	糖尿病教育入院実患者数	35人	37人	43人	122.9%	48人
		リウマチ膠原病・痛風センターの紹介患者数	220人	116人	232人	105.5%	213人
		リウマチ膠原病・痛風センターの逆紹介患者数	300人	192人	384人	128.0%	410人
		透析延べ患者数	5,010人	2,389人	4,778人	95.4%	4,194人
		リウマチ膠原病病診連携の会の開催回数	2回	0回	0回	0.0%	1回
③内視鏡治療の推進	①内視鏡治療センターの安定的な運用による質の高い高度な内視鏡診断・治療の提供 ②365日緊急内視鏡検査に対応できる体制の確立	内視鏡検査実施件数	6,000件	2,116件	4,232件	70.5%	5,556件
		緊急内視鏡検査実施件数	210件	90件	180件	85.7%	218件
		内視鏡治療実施件数	700件	270件	540件	77.1%	728件

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
④診療支援部門の専門職による取組の推進	①病棟における薬物療法の質の向上と医療安全確保(病棟への薬剤師配置) ②リハビリテーション実施体制の強化 ③放射線診断機器、放射線治療機器の的確な運用 ④検査業務の的確な運用 ⑤病状・病態に応じた的確な栄養指導の実施 ⑥医療機器の運用及び保守点検	薬剤師配置病棟数	6病棟	4病棟	6病棟	100.0%	4病棟
		薬剤管理指導料算定件数	5,500件	3,842件	7,500件	136.4%	6,108件
		リハビリテーション実施体制の拡充(土日・祝日対応)	試行実施	検討	検討	-	検討
		疾患別リハビリテーションの算定単位数	32,200単位	14,751単位	28,500単位	88.5%	29,137単位
		夜間・休日における緊急画像診断検査の実施	実施	実施	実施	-	実施
		臨床検査精度管理の実施	実施	実施	実施	-	実施
		疾患別栄養指導の算定件数	160件	113件	113件	70.6%	124件
		臨床工学技士の医療機器の定期保守点検の実施	実施	実施	実施	-	実施
⑤チーム医療の推進	①臓器別センター制(消化器センター、呼吸器センター、腎・泌尿器センター)の効果的な運営 ②緩和ケアチームによる症状の緩和・カウンセリング等、総合的な支援の実施 ③栄養サポートチームによる適切な栄養管理の実施 ④褥瘡対策チームによる褥瘡(床ずれ)予防	臓器別センター制の効果的な運営	実施	実施	実施	-	実施
		緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	500人	213人	430人	86.0%	352人
		NSTラウンドの実施人数	1,150人	293人	586人	51.0%	696人
		褥瘡発生率	0.82%	0.083%	0.080%	1025%	0.073%
		摂食嚥下支援チームラウンドの実施延べ人数	360人	228人	400人	111.1%	359人
		褥瘡対策チームラウンドの延べ実施患者数	120人	233人	400人	333.3%	180人
		⑥専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者による取組の推進	①専門看護師、認定看護師及び特定行為研修修了者による看護の質の向上 ②専門看護師、認定看護師及び特定行為研修修了者の計画的な育成、支援 ③特定行為研修修了者による取組の推進	専門看護師・認定看護師の人数	20名	23名	23名
専門看護師・認定看護師の分野数	12分野	12分野		12分野	100.0%	12分野	
特定行為研修を修了した看護師の人数	5名	5名		5名	100.0%	5名	

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目(4) 医療安全の確保・拡充							
①医療安全対策の推進	①医療安全対策加算1に係る施設基準の維持（職員研修の実施、医療安全管理者の確保、各部門への支援と記録作成等） ②医療安全対策地域連携加算1に係る施設基準の維持（専任職員確保、年1回の相互ラウンド等） ③基礎的な医療安全対策の充実（院内委員会の開催等） ④医療安全に関する患者・家族からの相談への適切な対応 ⑤画像診断報告書確認対策チームの立ち上げ、診療報酬加算の取得の届け出 ⑥2件の裁判中案件に関する弁護士等との調整、準備	医療安全研修の職員受講率	70.0%	74%	85%	121.4%	73.7%
		医療安全院内ラウンド実施回数	月2回以上	月2回	月2回	100.0%	月2回
		医療安全管理者養成研修の参加人数	1名	0名	3名	300.0%	2名
		医療安全にかかわる院内委員会の開催回数	24回	12回	24回	100.0%	24回
		インシデントレポートの提出（参考：報告件数）	実施	実施	実施	-	実施（2,094件）
②院内感染対策の推進	①感染対策に係る十分な経験を有する医師・看護師等の安定的な確保 ②感染制御チームによる活動の推進 ③感染症対策に関する院内研修	感染対策研修会4回、抗菌薬適正使用支援研修会2回以上（加算要件）の実施回数	計6回以上	4回	6回	100.0%	6回
		感染防止対策加算1-1訪問相互ラウンド各1回、感染防止対策地域連携加算1-2連携カンファレンス4回の実施回数	6回	3回	6回	100.0%	6回
		感染防止対策加算1、抗菌薬適正使用支援加算の取得継続	継続	継続	継続	-	継続
		加算要件以外の職員研修実施回数	10回以上	5回	10回	100.0%	16回
		職員研修受講率	70.0%	41%	70%	100.0%	85.0%

取組内容の状況と分析、今後の方向性

【取組内容の状況と分析】

【取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化】

①新型コロナウイルス感染症の5類引き下げ以降も陽性患者の受入れを行いながら、救急患者受入病床の効率的な運用に努めるとともに、川井田ホットラインを活用した川崎病院との連携や昨年7月から試行実施を開始した中原区二次救急当番制、それに伴う院内の体制強化等、効率的な救急医療を進めたことにより、救急車搬送件数は目標値を達成し、さらに直近5年間で最多となった昨年度の実績値を上回る見込みです。

②昨年度末に導入したD-HIMS（災害時院内情報管理システム）を使用した入力訓練を2回行ったほか、9月に2回、DMAT隊を派遣しての訓練に参加するなど災害時医療機能の強化に努めました。

【取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充】

①悪性腫瘍手術総件数については、目標値の達成は厳しい状況ですが、地域がん診療連携拠点病院の要件である年間400件以上を達成する見込みです。

②放射線治療紹介患者数、化学療法延患者数及び放射線治療延件数については、いずれも目標値を達成する見込みです。

③緩和ケア初診外来患者数、緩和ケア患者受入数については、目標値を達成する見込みです。

⑤昨年7月にがん・総合健診センターを設置し、健診強化に取り組んでいますが、5つのがん検診のうち肺がん・胃がんについては目標値を達成する見込みですが、大腸がん・子宮がん・乳がんについては、昨年度実績を上回るものの、目標値の達成は厳しい状況です。

【取組項目(3) 高度専門医療の確保・充実】

①新型コロナウイルス感染症対応を継続しながら、昨年7月から結核病棟を再開し、結核患者の入院受入数については、目標値を達成する見込みです。

④薬剤師配置病棟数及び薬剤管理指導料算定件数については、目標値を達成する見込みです。

⑤NSTラウンド実施人数については、院内の他の取組を進めるため、あえて専従から専任に要件を変更したことによりラウンド数の制限を受けることとなり、目標値の達成は厳しい状況です。なお、摂食嚥下支援チームラウンドの延実施患者数及び褥瘡対策チームラウンドの延実施患者数については、目標値を達成する見込みです。

【今後の方向性】

【取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化】

①本年10月から本格実施を開始した中原区二次救急当番制において、当院当番曜日を1日増やし、更なる受入体制の強化を図るなど、引き続き「断らない救急」を目指してまいります。

②コロナ禍で実施できなかった災害医療訓練（本年はDMAT関東ブロック訓練と同時開催）の再開等、引き続き、他の災害拠点病院・災害協力病院等と連携、協力して医療を提供する役割を担ってまいります。

【取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充】

①引き続き、手術支援ロボットによる実施を含む悪性腫瘍手術件数の増加に取り組めます。

③緩和ケア内科の医師を安定的に確保することで、外来・在宅・救急のニーズに24時間対応できる診療体制を継続的に維持できるよう取り組めます。

⑤健診強化の一環として、本年10月から会計待合スペースに「そこだけドック」（足・腰、脳など気になるところだけ行うもの）の広報ラックを設置するなど、引き続き、健診受診の広報等、健診受診者数増加に取り組めます。

【取組項目(3) 高度専門医療の確保・充実】

①引き続き、新型コロナウイルス等感染症への対応を行いながら、結核患者、新興感染症患者の受入れを行います。

④引き続き、各専門職による取組を進めるとともに、リハビリを必要とする患者数の増加が見込まれることから、リハビリテーション体制の強化に取り組めます。

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策2 地域完結型医療の推進

井田病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進							
①地域医療連携の推進	①紹介率、逆紹介率の向上のための紹介方法の整備 ②かかりつけ医受診の啓発 ③地域医療従事者等との研修会、症例検討会の充実 ④地域からの医療機器共同利用体制の整備 ⑤地域医療支援病院の承認	紹介率	60.0%	58.6%	60.0%	100.0%	56.8%
		逆紹介率	80.0%	94.5%	98.0%	122.5%	89.6%
		かかりつけ医紹介相談件数	30件	77件	160件	533.3%	180件
		地域医療従事者等との研修会、症例検討会の充実	22回	11回	20回	90.9%	23回
		地域医療支援病院の承認	承認	準備	承認	-	準備
		地域医療連携の会の開催	実施	未実施	未実施	-	未実施
②地域包括ケア病棟の安定的な運営	①在宅復帰率の72.5%以上の維持 ②病床利用率の向上 ③認知症等の患者の割合3割以上の維持	在宅復帰率	75.0%	81.8%	82.0%	109.3%	84.7%
		病床利用率	90.0%	76.1%	75.0%	83.3%	72.3%
		地域包括ケア病棟における認知症等の患者の割合	35.0%	41.2%	40.0%	114.3%	40.4%
③在宅療養後方支援体制の強化	①在宅療養後方支援病院としての積極的広報活動 ②在宅療養後方支援新規登録患者の増加 ③在宅登録患者の病状悪化など緊急時の受入体制の充実	在宅療養後方支援登録患者数	330人	264人	340人	103.0%	340人
		在宅療養後方支援登録患者の緊急受入患者数	60人	42人	80人	133.3%	76人
		在宅療養後方支援病院としての積極的な広報活動	実施	実施	実施	-	実施

取組内容の状況と分析、今後の方向性

【取組内容の状況と分析】
 【取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進】
 ①地域医療支援病院承認PJによる各種取組により、紹介率・逆紹介率及びかかりつけ医紹介相談件数は目標値を達成する見込みです。本年7月には連携登録医専用回線「つなぐ・つながるホットライン」を開設し、迅速かつ原則断らない対応により、3か月間で依頼患者の約70%が入院となるなど、地域との連携強化に取り組みました。また、地域医療支援病院承認後の患者支援体制を強化するために、昨年度からPJによるあり方検討を進めています。また、本年10月1日付けで紹介受診重点医療機関の指定を受けました。
 ②在宅復帰率については、目標値を達成する見込みですが、病床利用率及び認知症等の患者の割合については、目標値達成は厳しい状況です。なお、認知症等の患者の割合については診療報酬上の基準である30%は達成する見込みです。
 【今後の方向性】
 【取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進】
 ①紹介受診重点医療機関の維持とともに、引き続き、紹介率・逆紹介率の向上及びかかりつけ医受診の増加等に取り組めます。また、本年7月に開設した連携登録医専用回線「つなぐ・つながるホットライン」による受入強化に引き続き取り組むとともに、「川井田連携」（川崎病院との患者受入）、地域の医療機関や施設等との連携強化にも取り組めます。
 ②引き続き、院内転棟率60%未満、在宅復帰率72.5%以上を維持しながら、他病院・他施設、レスパイト等の受入を増やす等、病床利用率の向上に取り組めます。

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策3 効果的・効率的な運営体制づくり

井田病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目(1) 人材の確保・育成の推進							
①医療従事者の安定的な確保	①急性期病院としての医療提供に必要な医師・看護師・医療技術職の確保 ②医療事務職の活用やDPC制度運用講座の開催による診療報酬請求事務の強化及び専門能力の向上 ③採用選考の適切な実施による優秀な初期臨床研修医の確保 ④看護師確保のための病院見学会・インターンシップの実施	医学生向け病院見学会・インターンシップの実施	実施	実施	実施	-	実施
		看護学生向け病院見学会の開催回数	8回	4回	8回	100.0%	8回
		看護学生実習受入人数	360名	146名	281名	78.1%	226名
		医師、看護師以外の学生受入人数	9名	6名	8名	88.9%	8名
		診療科DPC勉強会の開催	4回	2回	4回	100.0%	4回
②職員の専門能力の向上	①専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了者の計画的な育成・支援 ②臨床研修指導医講習会受講の奨励 ③専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了者及び専門領域におけるリンクナースの育成の推進 ④事務職員の専門能力向上	専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了者活用の推進	実施	実施	実施	-	実施
		臨床研修指導医講習会受講の奨励	維持奨励	維持奨励	維持奨励	-	維持奨励
		看護研究発表会報告演題件数	45件	-	22件	48.9%	15件
		診療報酬関連研修会の実施回数	2回	1回	2回	100.0%	2回
取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進							
①働きやすい職場づくり	①医師事務作業補助者の確保・充実 ②正規職員の退職や産休育休等に伴う欠員を会計年度任用職員の任用により補充 ③有給休暇の取得促進 ④子育て支援制度の利用促進 ⑤新規採用者や異動者への精神的な配慮	医師事務作業補助者人数(常勤換算)	21名	22名	23名	109.5%	21名
		有給休暇取得奨励回数	4回	1回	4回	100.0%	4回
		新人職員への子育て支援制度の説明	実施	実施	実施	-	実施
		正規職員(休職者を除く)の年次有給休暇平均取得日数	13.0日	-	-	-	15.1日
		新規採用者・異動者への保健師の面談実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		職場に対する総合的な職員満足度(職員満足度調査)	45.0%	未実施	-	-	45.5%

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
②多様な働き方の推進	①特定行為研修を修了した看護師の活用 ②段階的な全病棟への薬剤師の配置 ③ICTを利用したオンライン会議・オンライン研修の活用 ④看護助手、医師事務作業補助者の活用 ⑤委員会開催やメンバー選定の定期的な見直しと午後5時以降の会議開催の縮減 ⑥産育休を活用する職員に対する復帰後を見据えた丁寧な説明	薬剤師配置病棟数(再掲)	4病棟	4病棟	6病棟	150.0%	4病棟
		特定行為研修を修了した看護師の活用	実施	実施	実施	-	実施
		医師事務作業補助者人数(常勤換算)(再掲)	21名	22人	23人	109.5%	21名
		看護助手人数(常勤換算)	50名	38名	35名	70.0%	34名

取組内容の状況と分析、今後の方向性

【取組内容の状況と分析】
 【取組項目(1) 人材の確保・育成の推進】 【取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進】
 ・初期臨床研修医の採用選考については、8月に3日間実施し、昨年度並みの45名の応募(43名受験)がありました。
 ・専攻医については、昨年度と同じ5名の応募がありました。
 ・大学医局等との連携や採用選考の適切な実施により、職員の確保に努めています。
 ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、看護学生の実習は上半期として146名を受入れ、昨年度実績は上回る見込みですが、目標値達成は厳しい状況です。
 【今後の方向性】
 【取組項目(1) 人材の確保・育成の推進】 【取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進】
 ・引き続き、医師・看護師をはじめ医療従事者の安定的な確保に努めます。

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

施策4 患者に優しい病院づくり

井田病院

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目 患者サービスの向上							
①積極的な情報発信の推進	①臨床・インディケータ（臨床指標）の公表 ②ホームページを活用した情報提供 ③広報誌の活用 ④SNS活用の推進 ⑤広報委員会での多職種による適切な情報提供の検討	臨床・インディケータ（臨床指標）の公表	実施	実施	実施	-	実施
		SNS（Twitter）のフォロワー人数	250人	238人	250人	100.0%	218人
		各所属へのホームページの点検依頼回数	2回	1回	2回	100.0%	2回
		広報誌（院内広報誌、地域連携だより）発行回数	6回	4回	8回	133.3%	5回
		市民公開講座開催回数	12回	8回	16回	133.3%	16回
		デジタルサイネージの点検回数	3回	2回	4回	133.3%	2回
		地域のボランティアを交えた院内コンサートの実施回数	6回	0回	2回	33.3%	0回
②相談体制の強化	①投書部会、患者サポート会議の開催 ②病院モニター会議の開催 ③がん患者相談及び入院時介入（初診面談）の充実 ④患者、家族、地域住民を対象とした通信の発行 ⑤入院患者満足度調査の実施 ⑥外来患者満足度調査の実施 ⑦がん相談支援センターブースの整備 ⑧各種配布リーフレット等の見直しと作成	モニター会議実施回数	1回	0回	1回	100.0%	1回
		アドボカシー相談員数	2名	2名	2名	100.0%	2名
		医療相談窓口への職員配置数	1名	1名	1名	100.0%	1名
		患者サポート会議・投書部会の開催	実施	実施	実施	-	実施
		外来における総合的な満足度（患者満足度調査）	85.2%	未実施	-	-	88.4%
		入院における総合的な満足度（患者満足度調査）	91.3%	未実施	-	-	93.4%
		がん相談件数（緩和相談を含む）（再掲）	3,100件	1,918件	3,700件	119.4%	3,939件
		専門外来緩和ケア内科受入（緩和相談）延べ件数	2,700件	1,452件	2,900件	107.4%	3,396件
		各種配布リーフレットの見直しと作成	実施	実施	実施	-	実施

取組内容の状況と分析、今後の方向性

【取組内容の状況と分析】
 【取組項目 患者サービスの向上】
 ・以前から取り組んでいるチーム・アイの活動（毎月初旬の朝の挨拶運動（5日間））をSNSに掲載、市民公開講座の開催等、情報発信に取り組みました。
 ・入院患者満足度調査は10月16日から11月15日まで、外来患者満足度調査は10月16日、17日、20日の3日間実施します。現在、調査中又は調査票の集計中で、調査結果を見て今後の方向性を決定します。
 ・患者サポート会議については、相談内容、アドボカシー等各部門からの報告・提案等を共有するほか、定期的に重症患者初期対応事例を取り上げ、看護師・ソーシャルワーカー等の関わり、症例検討を実施しています。
 【今後の方向性】
 【取組項目 患者サービスの向上】
 ・引き続き、積極的な情報発信、相談体制の強化により患者サービスの向上に取り組めます。

※R5.4月～9月（6ヶ月間）の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目 地域・社会への貢献							
①医療職の育成	①医師臨床研修の実施 ②専門医制度専攻医研修の実施 ③地域医療機関医療従事者を対象とした症例検討会の開催	他院からの臨床研修医受入れの実施	実施	実施	実施	-	実施
		当院の基幹型プログラム参加(参考:専攻医(D3)数)	実施	実施(3名)	実施(3名)	-	実施
		院外医療従事者を対象とした症例検討会開催回数	5回	2回	5回	100.0%	5回
		医療従事者向け出前講座の実施回数	3回	5回	10回	333.3%	3回
②医療系学生の教育支援	①大学医学部学生の実習受入れ ②看護職養成学校学生の実習受入れ ③大学薬学部学生の実習受入れ	学校の実習受入実施(看護職)(参考:受入校数)	実施	7校	8校	-	実績(8校)
		学校の実習受入実施(薬学部)(参考:受入校数)	実施	実績(2校)	実績(2校)	-	実績(2校)
		大学医学部学生の実習受入れ(参考:受入人数)	実施	実施(17名)	実施(27名)	-	実績(25名)
		学生の実習受入実施(看護職)(参考:受入人数)	実施	実施(146名)	実施(281名)	-	実績(266名)
		学生の実習受入実施(薬学部)(参考:受入人数)	実施	実施(2名)	実施(4名)	-	実施(3名)
③研究活動と学会発表、論文発表、治験参画	①学会活動への支援 ②治験参画の推進	学会発表件数	40件	-	-	-	39件
		論文発表の推進(参考:発表件数)	実施	-	-	-	実施(9件)
		治験協力の実施(参考:治験協力件数)	実施	実施(0件)	実施(0件)	-	実施(0件)
		高齢者の暮らし方と健康に関する調査への協力	実施	協力依頼なし	協力依頼なし	-	実施
④市民に対する医学知識の普及啓発	①市民公開講座の実施 ②施設等の出前講座の実施 ③健康の保持増進予防のための検診事業の充実 ④子どもに向けた医学セミナーの開催	市民公開講座の開催回数	12回	8回	16回	133.3%	16回
⑤環境を意識した病院運営	①本館、別館のLED照明の導入 ②空調・ボイラーの運用改善(効率化) ③空調用冷温水二次ポンプ自動制御システムの導入	LED照明の導入割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%
		空調用冷温水二次ポンプ自動制御システムの導入率	導入準備	契約準備中	実施	-	検討
		ボイラーの台数制御運転	2台運転	2台運転	2台運転	-	2台運転
		太陽光パネルの運用	実施	実施	実施	-	実施

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組内容の状況と分析、今後の方向性

【取組内容の状況と分析】

【取組項目 地域・社会への貢献】

・LED照明の導入割合については、半導体不足、ウクライナ情勢の影響により、工事が遅れていましたが、本年9月20日に完了し100%導入となりました。

10月からLED照明導入に伴う電力使用量調査を開始します。

・昨年度検討を開始しました空調用冷温水二次ポンプ自動制御システムについては年度内に導入できる見込みです。試算では、CO2を70%程度削減できる見込みです。

【今後の方向性】

【取組項目 地域・社会への貢献】

・患者サービスを含む病院運営への影響、費用対効果など総合的に勘案したうえで、引き続き、脱炭素など環境を意識した様々な取組を推進します。

取組項目	令和5年度の主な取組内容	成果指標名	R5年度目標値	上半期実績値(※)	年間想定値	達成率	R4年度実績値
取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進							
○収入確保に向けた取組の推進	①一般床、地域包括、緩和、救急後方病床の特性に応じた病床稼働率の向上と、適切なベッドコントロールの実施 ②精度の高い診療報酬請求 ③弁護士を活用した滞納債権回収及び未収金催告・督促の適正な実施	レセプト査定率	0.18%	0.16%	0.16%	88.9%	0.10%
		未収金催告・督促件数	500件	934件	1,864件	372.8%	2,313件
		診療科DPC勉強会の開催回数	4回	2回	4回	100.0%	4回
		個室病床（差額室料設定病室）の稼働率	70.0%	68.9%	70.0%	100.0%	70.5%
取組項目(2) 経費節減・抑制の強化							
①経費節減・抑制に向けた取組の推進	①委託業務の仕様の精査・見直し ②川崎病院との材料購入に関する情報交換・共同購入による経費節減の実施 ③無駄な在庫を持たないよう効率的な在庫管理を図り、経費節減の実施 ④外部医師の報酬費の見直し	委託業務の仕様の精査・見直し	実施	実施	実施	-	実施
		診療材料等の共同購入の実施	実施	実施	実施	-	実施
		医療機器購入時における保守契約を含めた合併入札の実施率	50.0%	66.7%	66.7%	133.3%	50.0%
		外部医師の報酬費の削減	実施	実施	実施	-	実施
		物品共用プロジェクトの推進	実施	実施	実施	-	実施
②適正な医療機器整備の推進	①必要性、収益性を吟味した購入審査 ②価格低減に向けた調整の実施 ③計画的な高額医療機器の取得、更新	計画的な高額医療機器の取得、更新	実施	実施	実施	-	実施
		医療機器購入時における価格低減に向けた調整の実施	実施	実施予定	実施予定	-	実施
取組項目(3) 経営管理体制の強化							
○経営管理体制の強化に向けた取組の推進	①経営会議による本計画の進捗管理の実施 ②病院幹部会議における病院経営状況等の報告、分析、評価及び改善 ③診療科等に対する経営に関するヒアリングの実施 ④ワークショップや幹部研修会による職員の病院経営意識の醸成	局経営会議による稼働状況の管理（参考：開催数）	実施	実施	実施	-	実施（12回）
		病院幹部会議における病院経営状況等の報告回数	12回	6回	12回	100.0%	12回
		診療科等ヒアリングの年間実施回数	2回	1回	2回	100.0%	2回
		新任・局間異動者研修会の開催	実施	実施	実施	-	実施
		幹部研修会又はワークショップの開催	実施	未実施	実施	-	実施
		病院経営戦略会議の開催回数	12回	26回	45回	375.0%	15回

※R5.4月～9月（6ヶ月間）の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。

取組内容の状況と分析、今後の方向性

【取組内容の状況と分析】

【取組項目（1） 収入確保に向けた取組の推進】

- 収入確保の取組として、在院日数と病床稼働率を意識した効率的な病床管理や、医師向けに、閲覧・アンケート回答・集計が可能なツールを使ったDPC、診療報酬勉強会等を実施しました。入院・外来収益については、目標値の達成は厳しい状況ですが、本年8月には単月としてコロナ前の稼働額に並ぶなど増加しています。
- 未収金催告・督促件数については、昨年度まで含まれていた新型コロナウイルス感染症に係る未収金に係る件数を除いたため、昨年度実績より減少しています。また、退院時よりも入院時や入院中の面談を増やすなど未収金を発生させない取組みを実施しました。

【取組項目（2） 経費削減・抑制の強化】

- 費用削減の取組として、医療機器購入の際、保守を含めた合併入札を行い、目標値を達成する見込みです。

【取組項目（3） 経営管理体制の強化】

- 局経営会議による稼働状況の管理については、毎月、入院・外来の稼働額、患者数、救急患者受入状況、手術件数等とともに、院長による取組報告等の情報共有等を行いました。
- 病院経営戦略会議については、地域医療支援病院承認PJ、収益向上PJ、診療報酬WG等を立ち上げ、課題や取組等を議論・検討し、その結果を戦略会議において報告、方向性の確認等を行いながら進めました。

【今後の方向性】

【取組項目（1） 収入確保に向けた取組の推進】

- 引き続き、各種PJ等による検討を行いながら、収入確保の取組を推進します。
- 新型コロナウイルス感染症対応のため減免利用が多かった有料個室については、稼働率向上、収入確保のため収益向上PJの中で一部病床の室料見直しの検討を行い、本年11月から実証実験を開始します。

【取組項目（2） 経費削減・抑制の強化】

- 引き続き、診療材料等における川崎病院との共同購入や、物品共用プロジェクトを推進するなど、費用削減に取り組めます。

【取組項目（3） 経営管理体制の強化】

- 収益向上PJについては、活動を知った職員が新たにメンバーとして加わるなど職員の経営意識の醸成にも寄与する取組として、院内への情報発信も含め、引き続き推進します。
- また、導入が遅れています原価計算システムを活用し、医師をはじめとする病院職員に対し、病院の現状（強み・弱み）を周知するとともに、診療科ヒアリング等を通じて経営改善、経営管理体制の強化に取り組めます。

※R5.4月～9月(6ヶ月間)の実績値を記載しております。ただし、特段の事情がある場合は、成果指標欄に実績期間を記載しております。